



- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

1・2年生がなのはなの会の方に読み聞かせをしていただきました！

1月19日(木)に会議室で、なのはなの会の鈴木先生より絵本の読み聞かせをしていただきました。1校時は2年生で、「のはらのうた」の詩や「干支のおこり」「ねずみのすもう」等のおはなし・「ヒギンスさんととけい」の絵本の読み聞かせ、「だいこんつけ」「さよならあんころもち」等のわらべうた、パネルシアターでは「きつねのつねた」をしてくださいました。2校時は1年生で、手袋人形の「雪の子」、「干支のおこり」「ねずみのすもう」等のおはなし、手遊びの「もちっこやいて」、「てぶくろ、しんせつなともだち」の絵本、わらべうたの「さよならあんころもち」、パネルシアターでは「まりーのうちへ」をしてくださいました。子どもたちは鈴木先生の語りにその都度反応し、お話の世界に入り込んで歓声をあげたり笑ったり、みんなとても楽しい時間を過ごしていました。鈴木先生は、毎学期、学年の発達段階に応じた本を提供していただき、1時間の中で読み聞かせだけでなく、手袋人形・わらべうた・手遊び等の様々な活動を取り入れていただき、本好きな子どもたちが増える原動力となっています。



第3回小中合同あいさつ運動が行われました！

1月23日(月)朝、毎学期1回ずつ取り組んでいる御勅使中学校との小中合同のあいさつ運動が行われました。今年度3回目のあいさつ運動となり、小学生も中学生も積極的にあいさつを交わしていました。このあいさつ運動は小中一貫教育の取り組みの一つとして、小中学校の交流を兼ねた活動となっています。いよいよ4月から白根御勅使中学校・白根百田小学校・白根源小学校の3校が小中一貫校としてスタートします。同じ中学校区の百田小と源



小が小学校として歩調を合わせながら様々な面で共通認識を持って教育活動に取り組み、さらに御勅使中学校と連携しながら中学校にスムーズに接続できるように取り組んでいます。また、小学校では近隣の保育園とも連携しながら、園児の小学校への入学が少しでもスムーズになるように、保育園と小学校とで情報共有を重ねながら小学校入学のための準備への取り組みを行っています。



6年生が卒業式に向けて礼の姿勢と菊花結びを学びました！



1月24日(火)3校時に、2回目の小笠原流礼法として、網倉師範の指導の下、卒業式に向けて正しい姿勢と当日身につける菊花の作り方を学びました。正しい礼の姿勢の手本を見せていただきましたが、普段の子どもたちの礼は頭と背骨が一直線にならず、最初はうまくできませんでした。アドバイスを意識し、だいぶきれいにできるようになりました。その後、卒業式で身につける菊花を作るため、縁起の良いおめでたい赤色の紐を使って、それを菊花結びにする結び方を学びました。菊の花の形にするために、十字にした紐を順に重ねて最後に輪の中を通すという工程を2度繰り返す、最後に菊の形になるように形を整えました。6年生は最初は苦戦していましたが、早く出来上がった児童がミニ先生となって友達に教えて歩き、みんなだんだん形を整えられるようになりました。子どもたちには、それぞれ紐が2本ずつ配られ、自分の分と保護者の分を作り、卒業式に向けて徐々に準備が始まっていることを実感しました。



3年生がふるさと伝承館を見学してきました！

1月25日(水)に、3年生が社会科見学でふるさと伝承館を見学しました。この施設では、国重要文化財の鋳物師屋遺跡出土品をはじめ市内の遺跡から出土した土器や石器、昔の農機具やアイロンや火鉢のような生活用品、電気製品など様々なものが展示されています。子どもたちは、館内のいろいろな展示物を見学したり、説明をしてもらったり、メモを取ったりしながら、熱心に学習に取り組んでいました。また、



実際に、薪を背負ったり、藍染めを見せてもらったり、田畑を耕すためのすきを引いたり、火鉢やアイロンに入れる炭を火がついたまま持ったりと昔の人の生活の体験をしました。子どもたちは、南アルプス市内に残っている本物の教材で学ぶことで、これまでの学習をさらに深めることができました。

4年生が若草瓦会館で鬼面瓦作りを体験しました！

1月27日(金)に、4年生が社会科見学で若草瓦会館を訪れ、甲州鬼面瓦作りを体験してきました。南アルプス市(旧若草町)の瓦づくりは、江戸時代(約300年前)に始まり、戦後の最盛期には40軒以上の瓦工房が建ち並び、質・量とも県内一の生産を誇っていました。子どもたちは、この伝統ある瓦作りについて学び、その後、自分だけのオリジナルの鬼面瓦作りに挑戦しました。それぞれが思い描く鬼を粘土で



形にし、とても個性が表れたすばらしい作品に仕上がりました。子どもたちの作品は、乾燥して焼き上げられ、後日、学校に届くことになっています。伝統を学び、陶芸家ぶりを発揮した4年生でした。